

# 「学生等緊急給付金」申請における確認事項

※この書類も提出

学籍番号 ( ) 氏名 ( )

## ◆該当する日本学生支援機構奨学金に○をつけてください

給付奨学金 ・ 第1種奨学金(金額: )円) ・ 第2種奨学金

奨学金はない → 振込先口座のコピーを提出 (金融機関名・支店名・口座番号・名義人がわかるページ)

## ◆該当する部分に確認をして✓をつけてください

「申請の手引き」をよく読み、事業の概要・支給対象について理解した	<input type="checkbox"/>
申請内容に虚偽申告や不正はない	<input type="checkbox"/>
訂正箇所がある場合は二重線で消し訂正印を押し訂正した	<input type="checkbox"/>

## ◆支給要件を満たすことが確認できるよう以下の書類を提出した場合は「提出あり」に○。提出できない場合は**支給要件を満たすことが確認できるよう事情を詳しく申し送りに記入。**

支給の要件 ①～⑤すべてを満たす	提出書類	提出あり	提出なし
① 原則として自宅外で生活している	アパート等の賃貸契約書の写し <small>※契約期間が切れ自動更新の場合は、直近の公共料金支払いの領収書などを添付</small> 直近の家賃の支払い根拠書類 住民票の写し		<b>申し送り記入</b> ・自宅生で親からの支援を受けていない場合は、支援を受けていないことを確認できるよう具体的な状況を記入
② 家庭からの多額の仕送りが無い	家庭が支払った授業料 年額 家庭からの送られた生活費 年額 家庭が支払った家賃・光熱費 年額		円 円 円
③ 家庭(両親のいずれか)の収入減少等により、家庭からの追加支援が期待できない	コロナ感染症対策に係る他の公的支援措置を受けている場合の受給証明書等		<b>申し送り記入</b> ・家庭の収入減少や追加支援ができない事情を具体的に詳しく記入
④ 新型コロナウイルス感染症によりアルバイト収入に影響を受けており、1)～3)いずれかの状況である			
1) 新型コロナウイルス感染症の影響で想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している			<b>申し送り記入</b> ・どのような事情でどんなアルバイトの想定していた収入が得られないのか、事情を詳しく記入
2) コロナ禍前と比較して、アルバイト収入が大きく減少(50%以上減少)し、その状況が本年度になっても改善していない	アルバイト先の給与明細、アルバイト振込口座の写し等 (2020年1月以降の2ヶ月分で減少がわかるもの。 ※減少がわかるものが昨年度に係るものである場合、本年度のアルバイト収入が改善していないことが分かるものも添付証明すること)	減少前の明細 減少後の明細 2021年度改善していない明細	

◆支給要件を満たすことが確認できる以下書類を提出した場合は「提出あり」に○。  
提出できない場合は**支給要件を満たすことが確認できるよう事情を詳しく申し送りに記入**。

支給の要件 ①～⑤すべてを満たす	提出書類	提出あり	提出なし
3) アルバイト収入が増加や一定水準に達していたとしても、家庭の経済状況が悪化したこと等の理由により、アルバイト収入を増やさざるを得ず、修学の継続が困難となっている	他の公的支援措置を受けている場合の受給証明等		<b>申し送り記入</b> ・家庭の経済状況が悪化した理由、修学継続が困難でアルバイト収入増が必要な状況を具体的に詳しく記入
⑤既存の支援制度について以下の <b>いずれかを満たす</b>			
1) 高等教育の修学支援新制度に申込みをしている者又は今後利用をするものであって、第一種奨学金の限度額まで利用している者	第一種奨学金奨学生証の写し		<b>申し送り記入</b>
2) 高等教育の修学支援新制度の対象外であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者	第一種奨学金奨学生証の写し		<b>申し送り記入</b>
3) 要件を満たさないため高等教育の修学支援新制度又は第一種奨学金を利用できないが、大学等独自の奨学金や民間等を含め申請が可能な支援制度、外国人留学生学修奨励費等を利用している者又は利用を予定している者	民間等の支援制度等の認定書の写し 外国人留学生学修奨励費認定書の写し など		<b>申し送り記入</b> ・どのような支援制度を利用して修学の継続を図っているのか具体的に詳しく記入